

# リ ボ ー ン 伊那在来そばREBOONプロジェクト 増殖のため今年も播種を開始します

かつて伊那市(西部地域)で栽培されていたとされる在来品種「伊那在来そば」の復活事業も、今年で3年目を迎えました。昨年は5,700粒播種し50,630粒に増殖。そばかきによる食味調査も実施し、少しずつ伊那在来そばの特性が判明してきました。この品種の生産を再開させることにより伊那市のそば振興につながることを期待されます。今年も「伊那在来そば」を増殖し、さらなる特性調査や麺等加工品での食味調査を行うため播種を行います。



## ■伊那在来そば

遺伝資源を保存する国の研究機関、ジーンバンクに「伊那在来そば」が保存されており、1980年代の論文に記述が多く残り、伊那地域(西部地域)で栽培されていたようですが、性質や特徴、味など詳しいデータは残っていないため、信州大学と協力して増殖、調査を開始しました。

### 1 播種日程及び会場

令和7年7月14日：荒井内の萱(既に実施済み)

令和7年7月18日：信州大学内園場

令和7年8月5日：荒井内の萱及び信州大学内園場(雨天時、翌日に延期)

現地に取材される場合、下記問い合わせ先に一報ご連絡ください。

### 2 添付資料 ☒ 有 ☐ 無

お問い合わせ

添付資料 信州大学そばの播種ほ場 7月18日及び8月5日播種予定



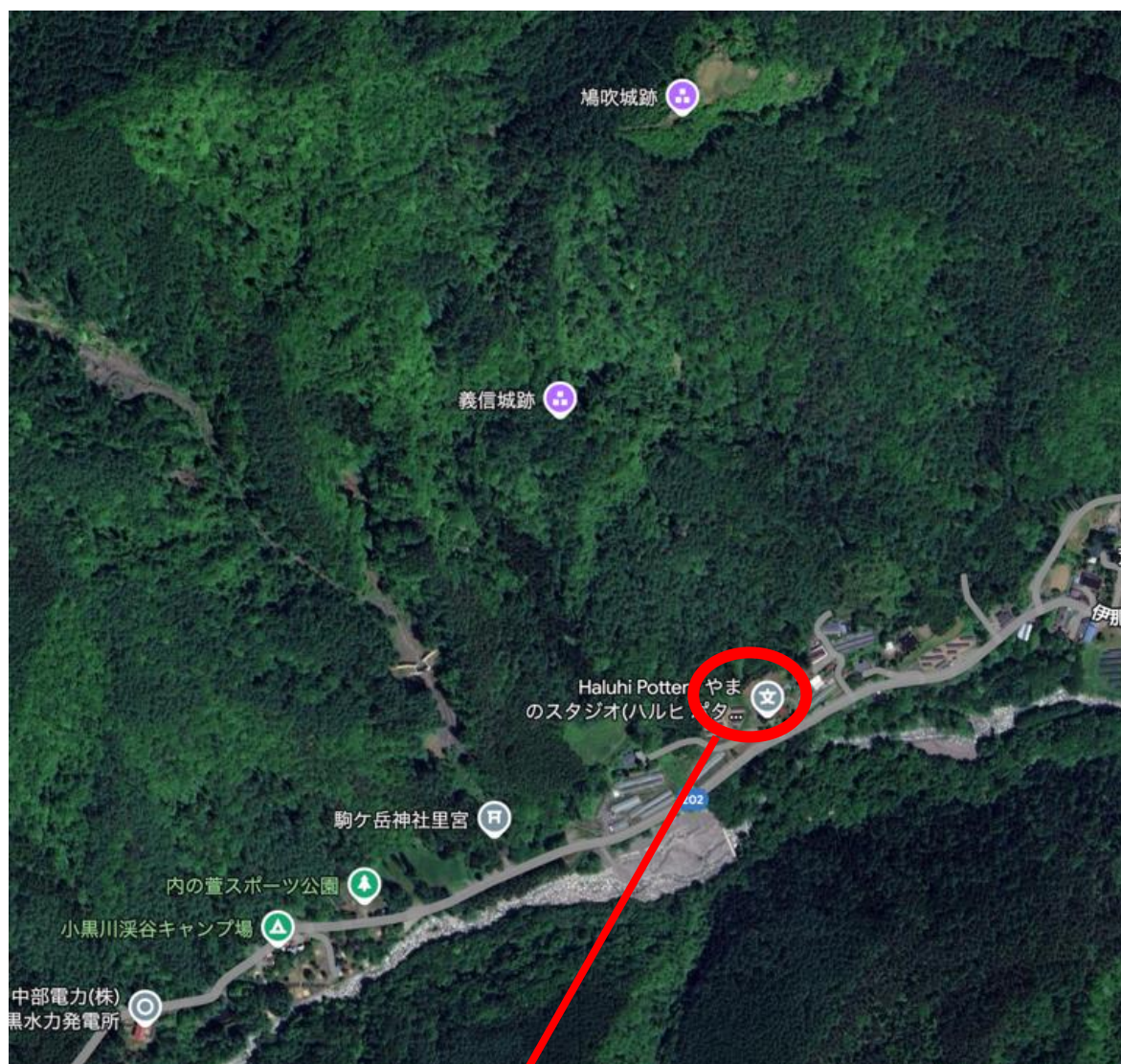
「伊那在来そば」を播くほ場



ほ場



添付資料 そば播種圃場（内の萱 7165-2） 8月5日播種予定



伊那在来そば播種圃場



伊那在来そば播種圃場

